

サンマ幼魚~小型魚の分布

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 水産総合研究センター 公開日: 2024-11-28 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 中神, 正康 メールアドレス: 所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2012394

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



サンマ幼魚～小型魚の分布

八 戸 支 所

研究の背景・目的

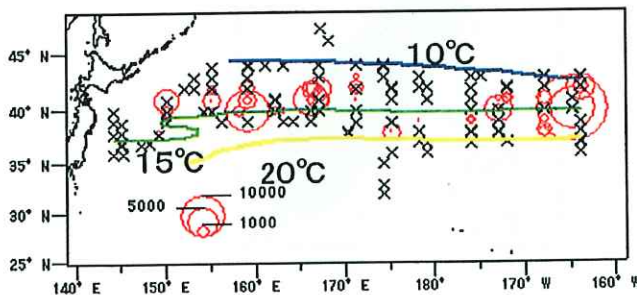
1. 漁獲対象とならない小型のサンマは分布など生態が不明
2. 翌年の大型魚の量的な把握には重要な発育段階

研究成果

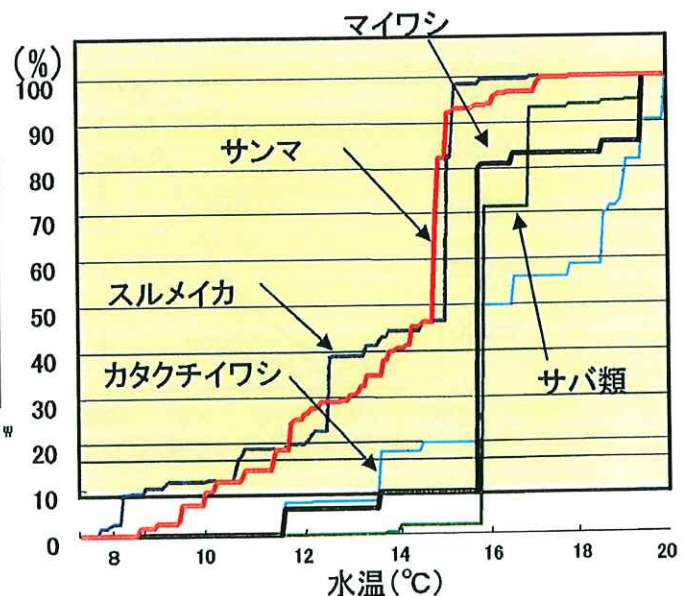
1. 中層トロール、幼魚ネットにより調査可能となり、日本近海から西経165°まで分布していることが明らかとなった
2. 年により東西の分布の偏りはあるが東経167°付近では毎年多く採集された
3. カタクチイワシ（当歳魚，1歳魚），さば類（当歳魚），マイワシ（当歳魚）と比べて低温域に多く分布していた

波及効果

1. 大型魚の資源量の早期把握が期待できる
2. 当歳魚の生態的变化と資源変動との関連などの研究への発展



中層トロールで漁獲されたサンマの分布と表面水温



漁獲水温地点ごとのトロール漁獲量を全体の漁獲量で割った百分率を積み上げたグラフ
急激に上昇している水温で多く漁獲されたことを示す。サンマ，スルメイカは14.5℃前後で多く漁獲された。